TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　復活

コリントの信徒への手紙一 15 章 12-19 節

2025 年 9 月 6 日 & 7 日

余沢　武　牧師

I.　イントロダクション

こんにちは。コリントの信徒への手紙一の中で、私たちは、パウロがコリントの教会にあったもう一つの問題に取り組んでいるのを見てきました。それは、死後のクリスチャンのからだの復活を疑っている人たちがいたということです。今日は、なぜからだの復活がクリスチャンにとって非常に大切な信仰であるのかを見ていきましょう。まずは、祈りましょう。

II.　復活

(1)　復活がなければ

コリントの信徒への手紙一 15:12-14 を見ていきましょう。「12 キリストが死者の中から復活した、と宣べ伝えられているのに、あなたがたの中のある者が、死者の復活などない、と言っているのはどういうわけですか。 13 死者の復活がなければ、キリストも復活しなかったはずです。 14 そして、キリストが復活しなかったのなら、私たちの宣教は無駄であり、あなたがたの信仰も無駄になります。」

パウロは「キリストが死者の中から復活したと宣べ伝えられている」と言っています。これはすべての使徒たちが宣べ伝えていたことです。ところが、コリントの人々の中には「死者の復活などない」と言う人たちがいたのです。

ずいぶん前のことです。ある女性が私に、イエスが彼女の罪のために死んだと信じている、イエスを愛し、イエスに信頼し従いたいと思っているけれども、イエスの復活は信じられないと言いました。彼女は、私に「バプテスマを授けていただけますか」と尋ねました。私は「いいえ」と言いました。
なぜでしょう。それは彼女には、イエスが彼女の罪のために死なれたばかりか、彼女の罪がすべてイエスに罰せられた後、罪はすっかりなくなり、イエスが罪のない命によみがえられたことを信じる必要があるからです。

これがクリスチャンの信じる福音です。
これが私たちです。私たちは「地上の罪深いからだ」をもっています。私たちは罪に満ちています。聖書は「罪の報酬は死です」と言っています。私たちは本来、神から「死の刑罰」を受けるべき存在なのです。しかし、神はその「死の刑罰」をこのように実行されました。神ご自身が来られて「地上のからだ」を獲得されましたが、罪は一切犯されませんでした。それがイエスです。そして、イエスは、私たちのすべての罪を御自身に引き受けられました。

十字架の上で、私たちのすべての罪はイエスに罰せられました。罪はすべて罰せられ、取り除かれました。イエスは『完了した』と宣言されました。そして、イエスは死なれました。しかし三日目に、神の聖霊が来られました。そして、聖霊の力は死んでいたイエスのからだを復活させ、「栄光に満ち、罪なき永遠のからだ」へと変えられました。それは、ただ神の栄光と愛と御性質を表すものです。

しかし、もっとあります。
もし私たちが「いや、私の罪がイエスにおいて罰せられたなんて受け入れません」と言うなら、罪は私たちの中に残ったままです。私たちは自分の罪のために死ななければなりません。けれども、「はい、受け入れます。私の罪はイエスにおいて罰せられました。これからはイエスを信じ従います」と告白するなら、私たちは赦されます。

そして、イエスを死からよみがえらせた聖霊が、私たちの「地上の罪深いからだ」のうちに入って、イエスに信じ従うことを助けてくれます。聖霊の助けによって、私たちは変えられ、少しずつイエスに似た者とされていきます。

いつか、この「地上の罪深いからだ」が死を迎えるとき、私たちの内におられる聖霊が、私たちの死んだからだを再び命へとよみがえらせ、「永遠の罪なきからだ」へと変えてくれます。そのからだは、ただ神の栄光と愛と御性質だけを表すものです。

そして、「聖霊は私たちの死んだからだをよみがえらせることはできない」と言うことは、「聖霊はイエスをよみがえらせることもできない」と言っているのと同じです。なぜなら、この二つの出来事はリンクするからです。 福音を否定することになります。

（2） 私たちは嘘つきとなる

15 節−17 節です。「[15] それどころか、私たちは神について偽証した者ということになります。なぜなら、本当に死者が復活しないのなら、神が実際には復活させなかったキリストを、復活させたと言って、神に反して証言したことになるからです。 [16] 死者が復活しないのなら、キリストも復活しなかったはずです。 [17] キリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰は空しく、あなたがたは今もなお罪の中にいることになります。」

ですから、パウロは「もし復活がないのなら、すべての使徒たちは「偽りの証人」であり、嘘つきだ」と言っています。すべてが嘘になってしまいます。「聖霊が私たちをよみがえらせてくださる」というのも嘘、「聖霊が私たちを助けてくださる」というのも嘘、「私たちの罪でイエスが罰せられた」というのも嘘です。結局のところ、私たちは罰せられるのを待っている罪人のままということになります。

18 節-19 節です。「[18] そうだとすると、キリストにあって眠りに就いた人々も滅んでしまったわけです。 [19] この世にあって、キリストに単なる望みをかけているだけなら、私たちは、すべての人の中で最も哀れな者となります。」

「眠りに就いた人々」は「滅んでしま」い、望みもありません。そして、「キリストに望みをかけている」私たちは、誰よりも哀れむべき存在だ、ということになってしまいます。クリスチャンとしての私たちの生活は、すべて、この復活にある希望の上に成り立っているのです。

クリスチャンとして、「真に満たされる人生」は、私たちの人生が神を中心に置かれたとき、つまり、自分自身を愛したいという罪深い衝動や、快楽や欲望を満たしたいという思いにもかかわらず、神を愛し、神が他者を愛するように他者を愛するときにこそ、達成できると信じています。

それはまるで、ディズニーランドに入場するために列に並ぶようなものです。私たちは列に並ぶのが好きだから並ぶのではありません。ゲートの向こうに素晴らしい喜びが待っていると信じているからこそ、並ぶのです。

しかし、もしゲートの向こうに何もなかったとしたら、私たちはすべてを無駄にして犠牲を払った哀れな者となってしまいます。

同様に、「真に満たされる人生」は、人生が神について、つまり神を愛し、神のように他者を愛することによってのみ、達成されるものであると私たちは信じています。その人生を歩むために、聖霊が私たちを助けてくださっています。そしていつの日か、私たちはイエスの復活の力を通して、それを完全に受け取ります。
しかし、もし私たちを助け、高める聖霊がいないということになったら、この世の他の人たち同様にただ自分の欲や快楽や欲望を満たすために生きるのではなく、私たちはすべての犠牲を無駄にする哀れな者となります。

クリスチャンとして、私たちは神がすべてのものを所有していると信じています。私たちが神を信頼し、正しいことを行うために従えば、神は今の私たちの必要をすべて満たして、復活のときにはすべてを与えてくださいます。ですから、私たちは自分の必要を気にするのではなく、神を信頼し、神に従って正しいことを行うことに焦点を置きます。

私は、大学生のころ、南林間の喫茶店でウェイターのアルバイトをしていました。私たちはみな、研修ビデオを見て学びました。内容はこうです。

① お客様が店に入ってきたら、やっていることをすべて止める。
② 新しいお客様の方をまっすぐ向き、お辞儀をして「いらっしゃいませ」と言う。
③ そして、お客様に水をお出しし、注文を取り、料理や飲み物を出す。
④ 月末に、給料を受け取る。（そのお金で私の生活は支えられます。）

しかし、もし一か月間、いらっしゃいませと言い、注文を取って、料理や飲み物をお出しするというすべての

働きをしたのに、結局給料がもらえないとしたら、私は哀れむべき者です。すべての時間と努力を無駄になってしまったのです。そこで働く代わりに、何か別のことをしてお金を稼ぐべきでした。

同じように、私たちは、神を信頼し、神に従って正しいことを行うとき、神は私たちの必要をすべて満たし、復活のときには、すべてのものを受け継がせてくださると信じています。

しかし、もし神が私たちの必要を満たさず、復活もないとしたら、私たちは哀れむべき者となります。自分の必要を気にかけず、正しいことを行うことに焦点を置いたのですから。

それだけではなく、クリスチャンとして、私たちは、「神の永遠の国」において神の前で最も尊ばれるのは謙遜であると信じています。ですから、私たちは「謙遜」を身につけることに焦点を置いています。

しかし、もし「復活」も、私たちのための「神の永遠の国」も存在しないとしたら、私たちは哀れむべき者となります。この世で最も尊ばれる成功や業績、名声を追い求める代わりに、謙遜を身につけるために生きたのですから。

(3) 結論

もし復活がなく、天国もないとしたら、「私たちは、すべての人の中で最も哀れな者となります」。
なぜなら私たちは、人生で充実感を与えてくれるものとして、自分の欲望や快楽、欲求、お金、成功、業績、名声など世界中の誰もが求めているものをあきらめることになるからです。

さて、これは、ジョン・レノンの歌「イマジン」で聞くような世界ではありません。「ザ・ビートルズ」のジョン・レノンが歌う「イマジン」を覚えていますか。その歌は「天国がないと想像してごらん」という言葉で始まります。

その歌は続けて、次のような世界を想像するように言っています。
すべての人々が「自分の人生を平和に生き」、「世界がひとつになっている」。人々は「所有物を持っていない」。「欲や飢えの必要もない」。そして私たちは「世界のすべてを分かち合っている」。

素敵に聞こえますが、そんな場所はこの世界にはありません。
なぜならこれこそが「天国」の表現だからです。皮肉なことです。歌は「天国がないと想像してごらん」と言いながら、実際には「天国」を描写しています。その場所では、人々は自分の欲望や貪欲、お金、所有物、成功や名声のために生きていません。

つまり、これこそが神が天国で私たちに与えたいと望んでおられる愛に満ちた世界だからです。そしてそれは、イエスの「死」、「復活」、そして「聖霊の持つ変える力」を通してのみ得られます。私たちの罪のせいで、このような場所を地上で見つけることはできませんから。

そして、福音です。キリストが死者の中から復活されたので、今はこうなっています。

① 私たちの「罪」はすべて取り除かれました。
② 私たちのうちにおられる「聖霊」が、神を愛し、他者を愛し、神の備えを信頼しながら正しいことを行い、イエスの謙遜を追い求めるのを助けてくれます。
③ いつの日か、この世を去るとき、「聖霊」が私たちをよみがえらせ、変えてくださいます。そして、永遠に罪のないからだを受け、神の愛と謙遜、善なる性質だけを表す者となります。

これが福音です。そして、「復活」は「福音の中心の真理」です。これこそ、私たちがイエスにあって持つ希望なのです。

まだクリスチャンでないなら、イエスはあなたの罪のために死に、そして復活されました。そして、あなたの罪のためのイエスの死を受け入れ、イエスをあなたの主・救い主として受け入れるなら、あなたも赦され、変えられ、いつの日か完全に変えられます。今日、イエスを受け入れてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://t-b-c.us/sg3725jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月7日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
霊的に成長するために
9月21日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了し、メンバーの方

★クラス 210
スモールグループトレーニング
10月4日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト＆印刷
（女性 3 名募集）

英語のスキルは必要ありません。
・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成＆印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org